

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・1学年 全 組
教科書	現代保健体育(大修館)	副教材等	アクティブスポーツ (大修館)

## 1 学習の到達目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付けることを目指す。</p>
--

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	体づくり運動  器械運動	体ほぐしの運動	心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすることができますようにします。	種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施します。また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。
	5		マット運動 跳び箱運動	自己の能力に応じて器械運動の技能を高め、技が円滑に出来るようにします。また、互いに協力したり補助したりし、安全に留意し練習や発表ができるようにします。	
	6	球技(ゴール型)	バスケットボール	チームの課題や自己の能力に応じてバスケットボールの技能を高め作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにします。また、互いに協力して練習やゲームが出来るようにすると共に、勝敗に対して公正な態度がとれるようにします。	種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施。また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。  筆記試験・レポートを課します
7	体育理論	スポーツの発祥と発展	スポーツの歴史や発祥、娯楽から競技への変遷を学習します。また、近年では、わが国から世界に普及し発展しているスポーツが日本の文化の発信に貢献していることを伝えられるように学習します。		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	球技(ネット型)	テニス	自己の課題や自己の能力に応じてテニスの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにします。また、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにします。	種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施。また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。
	10				
	11	球技(ゴール型)	サッカー	チームの課題や自己の能力に応じてサッカーの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにします。また、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにします。	種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施します。また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。  筆記試験・レポートを課します
	体育理論	スポーツの意義や価値	国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを学習し、スポーツの文化的特性について課題を発見し、他者に伝えられるようにします。		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	陸上競技  体育理論	長距離走	特定の長い距離をより速く走ることで、心肺機能・筋持久力を高めると同時に、自己の能力を最大限に発揮する態度と強い意志を養います。	長距離走は毎時間の授業への取り組みが評価となります。  筆記試験・レポートを課します
	2		スポーツが環境や社会にもたらす影響	スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について学習します。持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章で他者に伝えられるよう学習します。	
	3				

### 3 評価の観点

知識・技能	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・服装は学校指定の体操服を着用してください。夏季(6月～9月)は、Tシャツ、ハーフパンツとなります。
- ・体育館、小体育館で行うときは指定体育館シューズを着用してください。格技館、セミナーハウスには素足であがってください。
- ・持ち物にはすべて記名をしてください。貸借は禁止です。
- ・授業はチャイムと同時に始まりますので、授業場所へは休み時間のうちに移動を完了してください。また、貴重品は施錠したロッカーでしっかり管理してください。
- ・見学者は授業前に担当者に申し出て、指示を受けてください。原則として、見学者も体操服に着替えてください。
- ・授業の用具は原則として体育科のものを使用します。使用には安全を心がけ、大切に使用してください。
- ・積極的に参加することが大原則。自分の体調を管理して年間を通して自主的・積極的に活動しましょう。